燃料及び石油化学製品の高騰等の影響・動向

➢ **中東情勢の緊迫化を踏まえ、道内関係団体及び市町村に対し、価格及び供給量の変動による影響等に関するヒアリング・調査を実施。**（4月16日から22日の間で実施）

大きな混乱は生じていないものの、供給面での目詰まりの声が増えており、先行きの不透明感が強まっている。

区分	影響（◎：足元、■：先行きの懸念）　下線＝前回からの更新・追加情報、赤字＝主な影響
道民生活	◎灯油の需要期が過ぎたものの、日常生活で使用するほとんどの製品が石油化学製品であり、原油価格高騰による物価上昇が避けられず影響は甚大。 ■全産業に影響を与えることにより一層の値上げラッシュが想定されるとともに、長期化した場合、冬期の灯油供給に不安がある。
医療	◎ゴム手袋・マスク等の衛生材料価格が上昇し、入手が困難なものも生じている。 ■衛生材料や麻酔薬等の医薬品の欠品、流通停止により、今後の医療提供体制に影響が出てくる恐れがある。
医療機器・医薬品	◎医薬品製造に使用するヘリウムガスの価格が上昇、入手困難。一部医薬品や衛生材料、包装資材等では供給制限。 ■今後の状況により欠品や更なる値上げが想定される。

区分	影響（◎：足元、■：先行きの懸念）　下線＝前回からの更新・追加情報、赤字＝主な影響
経済団体	◎仕入価格の上昇や輸送・製造コスト等の上昇により収益が圧迫されるとともに、石油化学製品の供給抑制やエンジンオイルの供給停止などの影響が出ている。 ■コストの増加により、収益圧迫が懸念されるとともに、燃料等の供給制限が生じた場合、物流の停滞や地域の流通体制の維持にも影響が及ぶ恐れ。
金融	◎仕入価格高騰に備えた運転資金の相談が断続的に寄せられている。 ■長期化するようであれば、同様の相談が継続的に寄せられることが想定される。
製造	◎自社在庫やメーカー在庫により、すぐに不足はしない。 ■価格については先行きが不透明であり、供給面では仕入れメーカーによる供給調整が予想され、不安が残る。
小売	◎価格・供給に直接的な影響はまだ出ていない。 ■包装材料・メーカーの製品値上げや燃料価格の上昇によって、店舗仕入れコストの上昇をいかに企業内で吸収できるかが今後の価格転嫁の状況を左右する。

区分	影響（◎：足元、■：先行きの懸念）　下線＝前回からの更新・追加情報、赤字＝主な影響
観光	◎燃料、クリーニング価格が上昇。設備等の修繕費も上昇しており、事業計画が立てられない。また燃料供給はされているものの、長期契約が難しくなっている。 ■仕入れ原価の上昇による経営圧迫。また、修繕資材の不足やガソリン価格・航空運賃上昇による国内外の観光客の旅行需要の減少を懸念。
農業	◎飼料・肥料等の調達に直ちに影響はないものの、原料価格は上昇傾向。 農業用ビニール等は業者から値上げ要求が来ている。 ■燃料・生産資材の価格上昇や供給制約による営農活動への影響が懸念。
漁業	◎漁業用燃料の価格が、2月比で1．2倍、漁業用資材類の価格も上昇。 ■燃料や資材、物流費の価格上昇による漁業活動等への影響や、漁協や漁業者、水産加工業者の経営圧迫を懸念。
林業	◎林業機械や木材加工施設に使用する燃料価格が上昇し、コストが増加するとともに、油脂類や排ガスを浄化する尿素水などが品不足となる状況も見られる。 ■燃料はもとより、石油化学製品の大幅な値上げや供給制限による丸太や木材製品の生産の減少を懸念。

区分	影響（◎：足元、■：先行きの懸念）　下線＝前回からの更新・追加情報、赤字＝主な影響
運輸	◎価格は高止まりのまま、一部事業者で自社燃料貯蔵施設への配送を断られる状況は継続。エンジンオイルや尿素水等、使用製品が一部受注停止や供給停止など品不足の状況。 ■価格上昇による経営悪化や供給停止による運行停止など、道民はもとより、観光客なども利用するバスやタクシー、物流を担うトラックなどの運行が困難となる恐れ。
建設	◎一部製品や資材で大きく価格上昇しているほか、出荷制限や品不足が生じている。 ■アスファルトなどの調達が懸念されるほか、民間建築工事では、資材等に納期遅れや価格高騰が発生しており、工期延長による資金繰りや受注への影響も懸念。
市町村	◎半数を超える市町村で、燃料の契約単価の改定や入札不落、業者から供給制限の可能性の打診、供給日の遅れ等が生じている。 ■9割の市町村で、価格上昇に伴う予算不足や入札不落、供給の不安定化に伴う事業の遅延や公共施設等の維持管理への影響を懸念。
北海道	◎燃料単価契約においては、総じて契約単価の変更で対応。 また、その他契約についても、影響の把握に努め、必要に応じて対応。 ■価格上昇に伴う事業費の増加や、供給の不安定に伴う事業の遅延等への影響を懸念。